

地域密着型金融の取組みについて

当組合は、平成 15 年以降、2 次にわたるアクションプログラムの下に、「地域密着型金融の機能強化に向けた取組み」を推進してまいりました。平成 19 年 4 月公表の「金融審議会報告書」の趣旨を踏まえ、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」に基づく恒久的な枠組みの下で引き続き地域密着型金融の推進を図り、地域の金融ニーズに適切に対応するとともに自らの経営の健全性を確保し、地域の利用者から十分な信任を得ることを目指してまいります。

記

基本方針

当組合は、中小企業者や勤労者を中心とした組合員の相互扶助の精神に基づき、地域金融機関としての公共性を自覚し、組合員の経済的地位の向上を図るとともに、地域社会の発展に貢献することを目的とします。

1. 健全経営の維持

良質な預金と良質な貸金を確保することにより強固な経営基盤を確立し、いかなる環境の変化にも常に調和と均衡を図り、情報公開とリスク管理の強化徹底により健全経営に徹します。

2. 地域金融機関としての役割の遂行

小口多数の資金調達機能を充実させ、相互扶助の精神に立った資金の還元を図り、地域の中小事業者への安定的、円滑な資金供給を以って、目に見える形で地域経済の発展に貢献します。

3. 人材の育成と活力ある職場環境の醸成

組合員へのきめ細かい多様な金融サービスを提供するために、研修、資格取得を通して職員の質的能力の向上に努めます。更に成果、能力の適正な評価を通じて、活力と希望のある職場環境を醸成します。

重点事項および具体的目標

	平成 17・18 年度実績	平成 19 年度目標
1. 取引企業先に対する経営相談・支援機能の強化		
帯同訪問による融資	153 件 20 億円	20 件 2 億円
地元優良企業に対する低金利の無担保特別融資の取組み	43 億円	10 億円
2. 事業再生に向けた積極的な取組み		
病院再生による DIP ファイナンス	1 件	3 先
3. 担保・保証に過度に依存しない融資推進		
スコアリングによるビジネスローンの取組み	1 億円 (旧事業者ローン)	2 億円
4. 中小企業の資金調達手法の多様化等		
債権（売掛金）譲渡担保融資	5 億円	2 億円
保証協会付融資	77 億円	37 億円

以上

地域密着型金融推進計画の要約

項 目	具 体 的 な 取 組 み
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	
(1) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	
CRD による経営診断の利用	<ul style="list-style-type: none"> ● CRD によるスコアリング分析を利用することにより、取引先の経営改善項目を明確にし、企業価値を高める活動を行ないます。
(2) 経営改善支援の取組強化	
DIP ファイナンスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済を活発にする原動力である病院再生に向けた取組みを行ないます。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の徹底	
スコアリングモデルの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 無担保および第三者保証の不要なビジネスローンの活用を行ないます。 (貸付限度 20 百万円、期間 3 年)
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	
債権（売掛金）譲渡担保融資の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 売掛金債権を担保とする融資の活用を行ないません。
新規融資案件相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> ● 金融の円滑化を図るため新規案件の申込に対し取組方針を即日回答しています。窓口を開設して以来約 4 年半が経過し、かなりの実績と取引先の評価を得ております。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
(1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者満足度アンケート調査の継続的な実施により、地域の利用者の資金ニーズや金融商品等の要望を集積し、商品開発等を行い地域経済への貢献を行ないます。 ● 地元商工会議所（東大阪市、松原市、藤井寺市、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、堺市美原、大阪狭山市、大東市、堺市）との連携による会員への金融商品を継続して提供しております。

<p>4. 地域の利用者ニーズに応じた経営資源の投下状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業再生に対しては、民間企業のコンサルタントとの契約により、一定の成果を得ることができました。現在は、企業再生先の該当がありません。今後も、企業再生先があればプロジェクトにて検討してまいります。 ● 担保・保証に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、財務分析能力向上の内部・外部の研修に積極的に参加しております。 ● 債務者については、アウトソーシング（帝国データバンクの企業概要資料の購入）を活用し融資推進に活用しております。
<p>5. 態勢の整備</p>	
<p>(1) 人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 総務部を主担部とし、全国信用組合中央協会研修所・大阪府信用組合協会において開催する研修に職員を派遣しております。
<p>(2) 外部専門家との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期までは、(株)ネット M&A コンサルティングファームと連携し「企業再生プロジェクト」による再生支援を実施し成果を上げることができました。今後も、再生企業があれば連携し再生を取組んでまいります。
<p>6. 中央機関・業界団体が有する各種業務支援・補完機能の活用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 17 年 4 月に「しんくみ生活総合センター」創設によるインターネットを活用した業界独自の情報提供システム「あのねット」の活用による組合員向け家計診断や企業向けビジネスマッチングの機能の活用を図ってまいります。 ● 平成 19 年度より大阪府信用組合協会の発行誌「しんくみビジネスサポート」掲載企業の参加による「第 1 回異業種交流会」に参加し、ビジネスマッチングに活用を図ってまいります。 ● 平成 19 年 10 月 1 日より責任共有制度が導入され、大阪府中小企業信用保証協会の講師派遣による研修会の開催を予定しております。